

平成30年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年4月3日

上場会社名 キャリアバンク株式会社

上場取引所 札

コード番号 4834 URL <http://www.career-bank.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 良雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長兼経営管理部担当 (氏名) 橋本 正太

TEL 011-251-3373

四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第3四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第3四半期	4,470	0.6	95		91		69	
29年5月期第3四半期	4,442	5.7	88		90		22	

(注) 包括利益 30年5月期第3四半期 45百万円 (%) 29年5月期第3四半期 70百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第3四半期	70.14	
29年5月期第3四半期	23.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第3四半期	2,624	1,037	28.8	760.76
29年5月期	2,427	1,102	33.5	819.09

(参考) 自己資本 30年5月期第3四半期 755百万円 29年5月期 813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期				13.00	13.00
30年5月期					
30年5月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,084	4.6	103	4.9	102	0.6	29	5.9	30.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年5月期3Q	993,000 株	29年5月期	993,000 株
----------	-----------	--------	-----------

期末自己株式数

30年5月期3Q	株	29年5月期	株
----------	---	--------	---

期中平均株式数(四半期累計)

30年5月期3Q	993,000 株	29年5月期3Q	993,000 株
----------	-----------	----------	-----------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは企業と人材を繋ぐ役割と機能を果たすため、質の高い人材サービスの提供を通じて双方が求めるニーズに応えてまいりました。当第3四半期連結累計期間は、北海道の市場を基盤としながら東北地方においても雇用環境の改善を念頭に企業業績の拡大と地域の活性化に向けた業務を推進し、収益の拡大を目指してまいりました。

人材派遣関連事業においては、コールセンター等の派遣ニーズに対応することができ売上高は前年同期を上回りましたが、人材確保のための労務費率の高止まりからセグメント利益は前年同期を下回りました。人材派遣関連事業(関東)においては、既存の大口クライアントの稼働数が一部減少したことにより、売上高が前年同期を若干下回りました。また、労務費原価及び外注費の増加によりセグメント損失となりました。人材紹介事業においては、海外からのインターンシップ受入サポート事業等が伸びたことにより、売上高が前年同期を上回りました。再就職支援事業においては、積極的な入札への参加により前年並みの売上高を確保しました。ペイロール事業においては、昨年まで継続的に取引していた住民税業務の大型案件の受注がなかったことが影響し、売上高が前年同期を下回り、セグメント損失となりました。その他事業は、前期から開始した日本語学校運営事業の増加及びストレスチェック事業における新規クライアントの増加により、売上高は前年同期を上回りました。しかし、日本語学校運営事業において損失を計上したため、セグメント利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高4,470,301千円(前年同期比0.6%増)、営業損失95,524千円(前年同期は営業利益88,194千円)、経常損失91,438千円(前年同期は経常利益90,640千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失69,646千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益22,979千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ196,327千円増加し、2,624,151千円となりました。これは主に売掛金の増加等が現金及び預金の減少等を上回ったことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ262,169千円増加し、1,587,042千円となりました。これは主に短期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ65,802千円減少し、1,037,108千円となりました。これは主に利益剰余金の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月11日に発表いたしました平成30年5月期(平成29年6月1日から平成30年5月31日)の業績予想に關しまして、変更はありません。

また、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,266,541	710,087
売掛金	534,740	1,232,923
その他	55,005	83,645
貸倒引当金	△2,861	△4,431
流動資産合計	1,853,426	2,022,225
固定資産		
有形固定資産	150,755	147,720
無形固定資産		
のれん	64,862	57,079
その他	98,725	90,579
無形固定資産合計	163,587	147,659
投資その他の資産	260,054	306,545
固定資産合計	574,397	601,925
資産合計	2,427,823	2,624,151
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,928	47,677
短期借入金	400,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	120,320	105,380
未払費用	282,258	301,201
未払法人税等	30,527	18,731
未払消費税等	96,557	71,418
訴訟損失引当金	10,316	—
その他	61,907	54,829
流動負債合計	1,049,816	1,399,237
固定負債		
長期借入金	250,000	150,000
その他	25,096	37,804
固定負債合計	275,096	187,804
負債合計	1,324,912	1,587,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,240	256,240
資本剰余金	63,305	63,349
利益剰余金	416,910	334,355
株主資本合計	736,456	653,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,212	100,642
為替換算調整勘定	△1,317	847
その他の包括利益累計額合計	76,894	101,489
新株予約権	3,640	3,640
非支配株主持分	285,918	278,032
純資産合計	1,102,911	1,037,108
負債純資産合計	2,427,823	2,624,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
売上高	4,442,197	4,470,301
売上原価	3,543,603	3,671,022
売上総利益	898,594	799,278
販売費及び一般管理費	810,399	894,803
営業利益又は営業損失(△)	88,194	△95,524
営業外収益		
受取賃貸料	11,725	6,417
受取配当金	2,190	3,222
その他	3,883	5,744
営業外収益合計	17,798	15,384
営業外費用		
支払利息	3,078	3,017
貸貸費用	11,725	6,417
その他	549	1,862
営業外費用合計	15,352	11,297
経常利益又は経常損失(△)	90,640	△91,438
特別利益		
投資有価証券売却益	7,326	4,999
特別利益合計	7,326	4,999
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	10,316	—
特別損失合計	10,316	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	87,650	△86,438
法人税等	33,679	△11,375
四半期純利益又は四半期純損失(△)	53,971	△75,062
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	30,991	△5,416
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	22,979	△69,646

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	53,971	△75,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,318	25,235
為替換算調整勘定	255	4,229
その他の包括利益合計	16,573	29,464
四半期包括利益	70,544	△45,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,698	△45,050
非支配株主に係る四半期包括利益	32,846	△547

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。